

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画変更等に係る面談

2. 日時：令和2年8月25日(火)13時30分～15時00分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与

検査グループ 核燃料施設等審査部門

福原監視指導官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他8名

5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁から、以下のとおりコメントを伝えた。

(資料0について)

- ・次回のもんじゅ廃止措置安全監視チーム会合において、「2. その他の廃止措置の進捗状況について」は、核燃料物質による汚染分布評価の実施状況だけではなく、全体の廃止措置計画の工程を踏まえた上で、もんじゅの現状について説明すること。

(資料1について)

- ・セメント固化装置の更新に係る廃止措置計画変更認可申請時期の見直しについて、第2段階以降に計画しているナトリウム機器の洗浄等を見据えた技術的課題等がその理由とのことだが、先の面談でも申し越した通り、廃液は速やかに処理をして固形化すべきであるから、当該理由により際限なく滞ることのないよう、一定の時期で処理方法を見極めることが必要と考える。
- ・いずれにしろ、当該変更認可申請時期を見直す際には、セメント固化装置の設計等を示す時期を具体的に示すこと。

(資料2について)

- ・現在使用している熱蛍光線量計に係る現状の許認可の記載状況については理解したが、結論として、現状の許認可において必要としている性能を更新予定の代替品で満足できるという観点での説明が不足している。
- ・上記のような観点で資料を修正し、面談等において改めて示すこと。

○原子力機構から、承知した旨返答があった。

6. 配付資料

資料0：次回もんじゅ廃止措置安全監視チームの議題について（案）

資料1：固化装置の更新に係る廃止措置計画の変更認可を受ける時期の見直しについて

資料2：熱蛍光線量計の生産終了に伴う代替品への更新について